

# 泰明だより



Taimei・令和4・2

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第374号  
中央区銀座五丁目1-13  
Tel 03(3571)1765  
Fax 03(3571)0672

## 寒さに負けず

### 次に向けてのスタートを

副校長 栗本 元子

一年で最も寒い時期とされる大寒が過ぎ、2月の声を聞くと、待ち遠しいのは、暖かい春です。春というと、「桜」をイメージする方が多いのではないのでしょうか。満開の花でみんなを幸せな気持ちにさせる桜は長い時間をかけて、しっかりと花を咲かせる準備をしています。

桜は、一度きちんとした寒さにさらされないと蕾が膨らみ始めないそうです。桜は、夏に次の年の春に咲く準備ができますが、だんだん寒くなると、一度活動が止まり、眠った状態になります。そして、今のようになり寒い時期になると、眠りから覚めて活動を再び始めます。その後は、暖かい日光を浴びて、だんだん蕾が膨らんでいきます。

子供たちも、次の学年に向けて、小さな努力を重ねながら準備をする時期です。もちろん、学級のみならず協力して1年間のまとめをすることも大切な準備のひとつです。桜のように寒さに負けず、日々成長していく子供たちを温かく見守っていきたいと思っています。

東京都にまん延防止等重点措置が発出されましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しながら教育活動を継続してまいります。ご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

校長相談日 2月14日(月)

## 2月のカレンダー

このマークはセカンドバッグ登校日です。

1	火		国際理解教室(2,3)
2	水		
3	木		新1年生保護者会
4	金	保健講話 (zoom)	学年活動(1)③④
5	土		
6	日		
7	月	講話(zoom)	委員会活動
8	火		安全指導
9	水		
10	木		
11	金		建国記念の日
12	土		
13	日		
14	月	講話(zoom)	クラブ活動
15	火		能楽鑑賞教室(6)②
16	水		りぷりんと
17	木		
18	金		
19	土		土曜授業公開、SNS教室(6) 命と心の授業(1,3) 地域別児童会④
20	日		
21	月	講話(zoom)	
22	火		
23	水		天皇誕生日
24	木	6年生を送る会	6年生を送る会①
25	金		保護者会(6)
26	土		
27	日		
28	月	講話(zoom)	

( ) の数字は実施する学年、○は時間です。

## 席書会・書き初め展

文化委員会  
大竹 秀子

新年が明けて、登校まもなくに席書会が行われました。1, 2年生は銀色の鉛筆を使用し、冬休み前から何度も練習していた硬筆を、3年生から6年生は、毛筆を行いました。

それぞれの学年の目標は違いますが、一画一画、一筆一筆丁寧に一生懸命書いたものです。ぜひ見ていただきたいのですが、残念ながらコロナウイルス予防対策の関係で学校での書き初め展の公開は中止となり、申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、今年度は地域の「K I R A R I T O G I N N Z A」の方からお声かけをいただき、2階のスペースに展示させていただくことになりました。ご参観は任意になりますが、子供たちが一生懸命書いた作品をたくさんの方に見ていただく機会があることに感謝しています。詳細や日程は後日お知らせいたしますので、ぜひお時間があるときにお越しください。



## 校内研究～仲間とのよりよいかかわりと ICT タブレット端末の活用～

研究主任  
大庭 正泰

令和3年度は、タブレット端末の全面導入に対応した授業作りを、本校児童の課題である、仲間とのよりよいかかわり合い方を目指していくことと連動させて研究を推進してきました。教員同士のミニ研修会を重ね、更に校内研究を重ねていくことで、教員も授業のレポーターを増やしてきた今年度でした。

JAMBOARD アプリでは、班ごとに共通で示された課題に対して、意見や感想を同時に班員全員で書き込むことが可能で、模造紙などに付箋紙で書き集めていたスタイルの学習を刷新させました。

SLIDE アプリでは個人の書き貯めたクラス約30人分の長文の原稿を、同時に瞬時に全員で閲覧でき、コメントを入れることができます。

発表ノートアプリでは、図形や写真を思うような向き・形に整え、それに対しての自分の考えやコメントを自在に書き残し、先生にデータで意見を提出する仕組みを定着させました。

カメラ機能を使って、体育などで活動している技の様子やダンスの動き、図工で作成した作品の出来映えを撮影し、動画を再生する中で吟味・省察し、改善すべきポイントを友達と話し合うという場面を作り出すことができました。

コロナ禍が続く子供同士の関わり方や取り組む活動、行事にも様々な制限がありますが、タブレット端末という手法も生かし、引き続き、子供たちが豊かに仲間と関わり合う力を身に付けられるように研究を進めていきます。